

- 学生と市長との意見交換会の内容要旨  
 令和元年10月18日 高松短期大学  
 テーマ1 今後住みたい高松とは

No	御意見等	回答
1	<p>高松に人を呼ぶために、様々なイベントや政策・施策が行われていることを知った。市民としてできることは何か？</p>	<p>自分のまちを楽しくするということを考えてほしい。          あまり知らない人も多いが、行政をはじめ、民間・商店街・NPO・サークルなど、いろんな分野で活動が行われている。          自分のやりたいこと、興味があることに参加して、まちの活性化につなげてほしい。</p>
2	<p>高松市内で数多くのイベント等取組が行われているのは分かったが、香川県全体の活性化という視点で考えると、市外でももっと活発に行われたら、更にいい効果がうまれると思うが、どのように取り組んだらいいと考えるか。</p>	<p>瀬戸内国際芸術祭は、市だけではなく、坂出市や丸亀市等の島々や岡山県も参加したいわば備讃瀬戸全体で盛り上がっているイベントである。          最近では、三豊市の父母ヶ浜などが、インスタグラムで非常に有名になり、外国からの観光客も多く訪れている。          このような動きをみると、SNSでの情報発信力を高めることが重要であり、その活用によって賑わいが出てくる可能性が非常に高いと考えている。</p>

No	御意見等	回答
3	(高松の) まちなかだけでなく、自分が住むところも栄えてほしい。近所付き合いがあり、人との距離が近くいいところだと思う。	<p>中心部があり、農村部があり、住宅街がありという組み合わせでひとつのまちを形成する。</p> <p>高松市は同じ規模の都市と比較すると、バランスがとれたまちであり、魅力的なまちだと考えている。</p> <p>また、地域によっては、様々な人たちが集まって自分たちの住む地域を何とかしようというコミュニティの動きもあり、まちなか以外も良いところがたくさんある。</p>
4	高校生の時に瓦町FLAGができたが、あまり栄えていない印象である。京阪神では、駅周辺で一日遊べるような所がある。	<p>栄えるということをどう捉えるかにもよるが、ネットで買う時代なので、物売る商売は成り立ちにくい。モノを売るより、そこでしかできないコトを売る(体験させる)ことが大事であると考えていて、そのような視点でFLAGの賑わいについて考えてまいりたい。</p>

テーマ1、テーマ2以外で

No	御意見等	回答
1	たかまつ創生総合戦略に取り組む際、大事にしていることは。	<p>最終的には、市民のためになるか、ということに尽きる。そのためにも、今回のような市民との意見交換会などを通して、市民の率直な反応を受け止め、「市民のためになるか」という判断基準を大事にしている。</p>

No	御意見等	回答
2	<p>コンパクト・プラス・ネットワークの考えにより、持続可能なまちづくりをすすめることはすばらしいと思う。反面、騒音の問題など集約化に伴って発生すると思われるデメリットの対策についてどう考えるか。</p>	<p>集約拠点をつくるといっても、過密な社会を作るのではなく、高度経済成長時のような都市環境の問題は考えられないと思う。</p> <p>また、これにより、郊外の人たちを切り捨てるのではないかと危惧する人もいるが、そうではなく、人口減少社会の中、豊かに生活するために寄り集まって、利便性を高め、バス路線を面的に整備することにより、コンパクト化を図るのが目的である。</p>